

県内経済団体と共に創り育てる「SDGs公民共創プロジェクト」 「ひょうごグローバルユースラボ」の本格展開

※令和5年度：関西学院大学において試行的に実施

○大学生が主体となって、企業や行政等の課題解決に向けた成果・提言を発信する「ひょうごグローバルユースラボ」を設置

○大学生の活動を、産官学がバックアップ ⇒
・企業や地域のSDGs等に資する課題解決
・県内企業や地域に対する県内大学生の理解促進

● ラボのメンバー

学 関西学院大学、兵庫県立大学

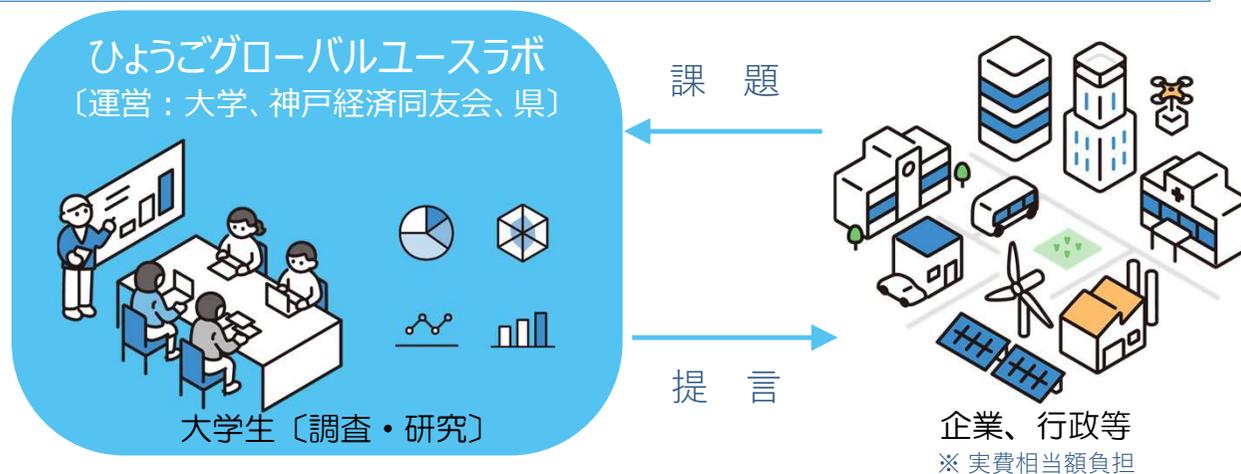
産 一般社団法人神戸経済同友会

官 兵庫県

※大学は、一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸を通じ、2大学以外も参加を呼びかけ

● スケジュール

- ・ R6.7 ひょうごグローバルユースラボ設立
研究課題・学生グループ決定
調査研究活動開始
- ・ R7.3 研究結果とりまとめ・提言
- ・ R7.4 発表会



● 令和6年度の課題 (予定)

	依頼主	課題
企業	(株)大丸松坂屋百貨店	地元企業との連携によるSDGsの取組の最大化及び旧居留地の魅力向上・発信に向けた調査研究
	(株)笠谷工務店	エリアプラットフォームを活用した芦屋の街づくり(ビジョンづくり)のための調査研究
	(株)デザインクラブ・クリエイト生野(株)	生野銀山と銀の馬車道の世代を超えた普遍的魅力調査
地域	兵庫県	県内外国人留学生の県内就職に向けた調査研究

これまでの経緯

- 2022年12月
神戸経済同友会の提案

地域の優秀な大学生が集結した学生シンクタンクを創設し、高度な統計分析、現地調査から得たエビデンスをベースに地方創生とSDGsにまつわる課題解決・社会実装を目指し、地域の元気づくりを推進するためのプラットフォーム構築を提案。



- 2023年度
関西学院大学での試行

関西学院大学において、企業等が抱える課題に対し、統計分析・調査を試行的に実施。その成果を踏まえ、他大学への横展開及び推進体制の整備について検討。



- 2024年度
取組の本格展開

大学に兵庫県立大学を加え、大学・神戸経済同友会・県からなる「ひょうごグローバルユースラボ」を立ち上げ、本格的に取組を展開。

- ・ 設立総会：7月3日（水）9:15～9:45 県庁2号館5階会議室
※取材をご希望の場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。



今後の展開

参加大学を拡充するとともに、取組実績を広く発信することで、「ひょうごグローバルユースラボ」を中核とした、学生と企業課題・地域課題とのさらなるマッチングを図っていく。